平成29年12月16日（土曜日）午後1時より大川原脳神経外科病院大会議室にてISLS/PSLSコースを開催いたします。
脳卒中の標準化された所見の取り方（GCS・NIHSS）を中心に学習し、講義1時間、模擬患者による実習3時間、合計4時間かけて行う予定です。
コースの内容や参加資格などの詳細についてはISLSのホームページをご覧ください。（http://www.isls.jp）

記

日時　：平成29年12月16日 13：00～17：00

場所　：大川原脳神経外科病院 2F 大会議室

（室蘭市寿町１丁目１０番１号）

会費　：　5000円　(認定料1000円含む）

コース開催責任者　：大川原　淳（大川原脳神経外科病院）
コースディレクター　：森脇　寛　（函館脳神経外科病院）
コースコーディネーター：大川原　舞、吉本　晃一（大川原脳神経外科病院）
ファシリテーター　：函館ISLS/PSLSコーススタッフ他

※お問い合わせ　：大川原脳神経外科病院　吉本晃一
メールアドレス：kouichi-yoshimoto@isyuukai.jp
電話番号　：0143-44-1519

ISLSとは（Immediate Stroke Life Support）脳卒中初期診療に対する係わる様々な診療または観察プロセスの中から、ニーズの高いプロセスを抽出し、これらの模擬患者を用いたシミュレーション研修により学習するための研修コースです。患者本人や家族による症状の早期発見から、救急隊による観察、病院搬送、専門医による決定的治療の各プロセスの中で、最も標準化の遅れている救急外来に係る部分を対象とし、円滑な医療チームの連携を目指します。

PSLSとは（Prehospital Stroke Life Support）脳卒中の75％を占めるといわれている虚血性脳病変（脳梗塞）への画期的な治療も可能になった背景もあり、発症現場から医療機関まで脳卒中指向型の救急医療体制を速やかに構築する必要性が強調されております。そこで、脳卒中に対する病院前救護の体制化・標準化されたのが脳卒中病院前救護PSLSです。

日本神経救急学会・日本救急医学会・日本臨床救急学会　認定ISLSコース（http://www.isls.jp）